

Living the LOTUS



Buddhism in Everyday Life

4
2018

VOL. 151

開祖隨感

だれからも好かれる人

春四月は、新しい出会いが多い時です。とりわけ若い人们は、職場での新しい上司や同僚との人間関係が心配で、「人に好かれる方法はないものか」と苦心している人もいると思うのですが、いちばん確実な方法は、こっちが相手を本当に好きになってしまふことです。

よく「私はどうして異性にもてないんだろう」と悩んでいる人がいますが、そういう人は、自分のいいところだけを見せようと格好ばかり気にしているのですね。すましこんだり、高尚な話をしたりして、肝心な相手を少しも見ていないのです。それよりも相手を好きになってしまふほうが早道です。人は自分に好

意を持ってくれる人を自然に好きになるものですから。

法華経には、三十三身を現じてどんな人も救わずにおかない觀世音菩薩が登場しますが、その名の「觀世音」とは、相手の心、相手の願いを見通すという意味です。「私は口下手でお上手を言えないから」とあきらめている人がいますが、「愛語」とは、多く話すより聞くことを多くすることといつてもいいでしょう。だれの、どんな話にも親身になって耳を傾けられるようになったら、だれからも好かれる人になります。

(『開祖隨感』9 P. 34-35)

Living the Lotus
2018年4月号 (Vol.151)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: [living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

編集責任者: 斎藤高市

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家佛教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は佛教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす佛教の教えをお伝えします。

円満な人になる

立正佼成会会长 庭野日鑛



あいさつ一つで

ある職場に、朝のあいさつをとてもていねいにする人がいたそうです。しっかりと相手の顔を見て、「おはようございます」といいながら、頭をゆっくり下げる。それだけのことなのですが、慌ただしい朝の空気のなかで、ていねいすぎるその姿勢を煩わしく思う同僚もいたといいます。

ところが、しばらくすると職場の雰囲気が変わってきました。それまで、すれ違いざまに「おはよう」と言い交わしていた人たちも、それが相手としっかり向きあってあいさつをするようになり、やがて職場の空気が和らぎできたというのです。

円満とは、人格が「十分に満ち足りて、欠点や不足のないこと」です。ですから「円満な人になる」といえば、いわば人間の理想に近づくことで、仏教徒にとっては仏さまのような人になることを意味します。しかし、だからといって遠い目標ということではないと思います。

人に安心や満足を与え、そのことをとおして、相手に「人と仲よくしたい」という気持ちを発さしめたり、その場に調和をもたらしたりするのが仏・菩薩のはたらきと受けとれば、朝のあいさつ一つで人の心を動かし、職場に和らぎをもたらした人は、まさに円満な人そのものです。足りないところの多い私たちですが、だれもがみな、仏性を具えていることの証ともいえましょう。そしてこの春、新たな出会いを円満な人間関係にする決め手も、あいさつをとおして相手の仏性を採むことにあるといえるかもしれません。

悲しみを知る人に

人間の本質が仏性であり、人格円満であることを示す話は、ほかにも数多く見られます。

江戸時代、現在の奈良県吉野に暮らした清九郎という妙好人（淨土真宗の篤信者）は、留守宅にあったお金を盗まれたとき、こういったそうです。「私のような者の家に盗みに入るその方は、よほど困っていたのでしょう。たまたまわが家にお金があったのでその人も得るものがあり、うれしく思います」と。そして、「私はいま、仏の慈悲に導かれて『盗まれる身』にさせてもらい、これほどうれしいことはありません」と語ったというのです。

同じく妙好人といわれる大阪の物種吉兵衛さんは、「よいときばかり喜ぶのならだれでも喜ぶ。どのような難儀なことに遇うても、その難儀の底にかかるてある仏法や」と、困難が教えてくれる「感謝の種」に気づける喜びこそ信仰の醍醐味であり、真骨頂であることを伝えています。

こういう方々の心には、み仏に生かされていることへの感謝と、人に対する慈悲、思いやりがあるばかりです。円満とは、人格が「満ち足りて、不足がないこと」の意で、それはまた、なにごとも「ありがたい」と感謝で受けとめられる温かな充足感そのものといえます。

ところで、先の清九郎さんは父親を早くに亡くし、母親との貧しい暮らしのなかで出会った妻とも、三十三歳のときに死別しています。悲しみやつらさを、とことん味わったからこそわかる、人の心の痛み。そこからわき出る慈悲の思いが、おのずから人を救う智慧を発さしめたのでしょう。

評論家の亀井勝一郎さんは、柔軟な微笑みで知られる奈良・中宮寺の菩薩半跏像の、その口もとに湛えた笑みを、嘆きや悲しみによってこみあげる「慟哭と一つなのかもしれない」と綴っています。菩薩の心の奥には七転八倒の苦悩があり、言葉に尽くせない思いがあるというのです。

「悲智円満」という言葉があります。釈尊も、そして私たちも、慈悲と智慧をあますことなく發揮するために、この世に願って生まれてきたといわれています。

(『佼成』2018年4月号)





捉われが苦のおおもとだった

南アジア国際伝道センター長
島村雅俊

この体験説法は、2018年3月4日に大聖堂での開祖さまご命日式典で発表されたものです。

皆さま、よろしくお願ひいたします。

私は、タイのバンコクで南アジア国際伝道センター長のお役をいただいております島村雅俊と申します。南アジアにはタイ、バングラデシュ、スリランカの三ヵ国に教会があります。その他に、インド、ネパール、シンガポール、カンボジアに支部や法座があり、私はそうした地域の布教を担当させていただいております。

私は、昭和38年9月6日、東京都の江戸川区で家具小売店を営んでいた島村家の長男として、この世に生をいただきました。

信仰熱心な母親の影響を受け、私も信仰に抵抗を感じることはませんでしたが、学校のクラブ活動で忙しかったこともあり、学生部の活動にはまったく参加していませんでした。しかし高校受験を目前とした頃、学生部の先輩が手どりに来て下さるようになり、受験を控えて神経質になっていた



大聖堂で体験説法する島村センター長

私を励ましてくださいました。そのやさしさに感動し、高校入学後、私は学生部活動に参加するようになりました。

当時、江戸川教会の学生部は、毎年夏休みに青梅練成会を実施していました。私もその練成会に参加させていただき、青年教務員さんの教義研修に感動し、また仲間同士の法座とともに涙を流すなかで、信仰の喜びを少しづつ感じられるようになりました。

高校三年生の時、平和をめざして世界中をとびまわっていらっしゃった開祖さまのお姿に感銘を受け、私は「英語を習得してお役に立ちたい」と志し、アメリカのテンプル大学の日本分校に入校しました。そして、英語で授業を受けながら、「自分で考え、ハッキリ意見を述べる」というアメリカ式の考え方を勉強させていただきました。

ところが、夢を抱いて大学で学び始めた直後、家の借金の問題が持ち上がりました。不況の影響で両親が営む家具店の売り上げが落ち、銀行から受けていた融資の返済できなくなってしまったのです。借りていた金額は300万円ほどでしたが、店の売り上げだけでは返済の見込みが立ちません。私は長男として責任を感じ、大学をやめて働くしかないと覚悟を固め、学生部長さんに相談に行きました。

学生部長さんは私の話をじっくり聞いてくださいました後、こう励ましてくださいました。

「開祖さまのお役に立ちたいと誓願してせっかく入学した大学だ。絶対にやめてはいけない。でも

借金の返済も手伝えるようなアルバイトを探しなさい。また、こういう時こそご守護が必要だから、学生部のお役もしっかりと果たしなさい。苦しいだらうけれど、絶対にそれが人生の宝になるから」

学生部長さんも新聞奨学生として苦学しながら大学を卒業し、中学校の先生をされていた人でした。「自ら苦学した人のアドバイスだから、しっかり受け止めなければならない」。そう決心し、大学に通いながらお役をさせていただき、借金の返済も手伝えるアルバイトを探しました。そして週4日、夜11時から朝8時まで、外食チェーンの牛丼の吉野家で働くことに決めたのです。

おかげさまで願い通りの収入が得られ、毎月親の借金返済の手伝いをすることができ、学費を払うこともできました。しかし一方で睡眠不足が重なり、慢性的な倦怠感を覚え、また授業に集中できず成績も上がらないことが大きなストレスになりました。こうした生活が続いているうちに、私の心はいつの間にか不平不満でいっぱいになりました。

両親がご飯を食べているのを見るだけで腹が立ち、またアルバイトに出かける時に晩酌をしている父の姿を見ると、思わず暴力的な衝動にかられました。体力的な疲労と精神的なストレスをぎりぎりまで溜めながら生活するなかで、私の心はかなり荒れていきました。

それを癒してくださったのは教会の先輩でした。先輩は、私の愚痴を真正面から受けとめてくださいました。「いけないとわかっていても、親に暴力を振るいたくなるときがあるんです」と、私は先輩に涙ながらに訴えました。すると先輩は、「それ

はそうだ。殴っていいぞ、殴れ、殴れ。でも親じやなく、この俺を君の親と思って殴れ」と、言ってくれました。その先輩の顔も、涙でぐしゃぐしゃでした。

先輩の言葉を聞いて、私は正気に戻ることができました。そもそもとは、借金に苦しむ親を少しでも楽にさせてあげたいと自ら願って始めたことです。それなのに、自分の辛さばかりに気を取られ、初心を忘れて親を責める気持ちになってしまったのです。その矛盾した気持ちに私は苦しみました。

先輩に励まされると、しばらくは心が落ちつきました。しかし、疲れが溜まると再び気持ちが荒れ、そしてまた先輩に励まされて正気に戻るという日々が続きました。不安定な精神状態から完全には脱け出せない日々を過ごしていたとき、バングラデシュの児童労働について取材したテレビのドキュメンタリー番組を見る機会がありました。

その番組の中に、10歳位の女の子が、親と一緒にレンガをカゴに入れて運んでいる姿がありました。学校にも行けず、遊ぶ時間もなく、毎日毎日、ただひたすらレンガを運んで生きている少女。しかし、彼女の顔はまぶしいばかりの笑顔に満ちていました。「なぜだろう。なぜあの厳しい環境の中で、彼女は笑顔でいられるのだろう」。私は真剣に答えを模索しました。「それはひょっとしたら、学校や遊びのことを考えず、親を手伝っていることに喜びを感じ、同じ境遇の他の家族と励まし合って安らぎを感じているからではないか」。その子の姿を見て私は気がつきました。

「そうだ、私の苦しみは、自分の辛さに捉われ

Spiritual Journey

ているところにあるのだ。親の手伝いができるることを喜べず、先輩たちの励ましにも一時しか感謝できないで、再び自分の辛さにばかり気持ちがいってしまう。これが私の苦のおおもとだ。私の苦しみは大学を卒業するまでの期間限定なのに、一生苦を抱えていくかのような大錯覚をしている。すべて、自分の辛さに捉われているからだ」

そう気がついた時、私は「この苦は乗り越えられる」と強く感じました。「手伝えることが有り難い。励ましてもらえることが有り難い。辛い環境にあっても、有り難さを感じられる心の強さは一生の宝となる。苦は現実にあるけれど、それは大学を卒業するまでの期間限定だ。正気を失うほどの問題ではない」。そう確信することができたのです。

私は、心の葛藤から解き放たれたことで、自分の中で抑えていたものが一気に噴出したようなエネルギーを感じました。すると、もっと大切なことに気がつきました。それは、「私が自分の辛さのために親を責めていたとき、いったい両親は私のことをどう思っていたのだろうか」ということでした。両親の思いに心が開いた時、母が私のために栄養のある料理を一生懸命つくってくれた姿が浮かびました。晩酌につきあつたときの、父のとても嬉しそうな笑顔を思い出しました。そうです、子どもが苦労しているのにそれを何とも思わない親はいない。そこにいたのは、こうした親心に全く気づけない大バカ息子だけでした。そしてこのバカ息子は、自分が親孝行をしていると錯覚し、自分以上に辛い思いをしている両親の気持ちなど、考えようともしなかったのです。本当に自分勝手でした。本当

に驕慢でした。ここにあらためて、今は亡き両親に心からお詫び申し上げます。そして、お詫びとともに、私を育て導いてくださった深い、深いご恩に、心から感謝申し上げます。

私はその後、志を抱いて学林本科に入林し、卒林後はタイの大学に留学するお手配をいただきました。以来、アジアとのご縁を継続しながら、お役をさせていただいております。

一昨年、お釈迦さまが悟りを開かれた聖地にあるブッダガヤ法座の主任さんの家が豪雨で被災したため、ある会員さんのお宅に避難しました。その避難先の家に住む女の子が、主任さんに対してしきりに冗談を言って話しかけたそうです。主任さんは少し腹が立って、「なぜ私が苦しんでいるときに冗談ばかり言うの?」と彼女に聞くと、「だって辛いことが起きたんだから、励ましてあげたいと思ったの」と答えたそうです。その後、主任さんは、「私は自分自身の苦しみに捉われて、心配してくれるみんなの気持ちに気づけなかった。本当に申し訳なかった」と言って、皆さん前で懺悔しました。

ブッダガヤ法座の主任さんこそ、昔の私の姿だと思いました。被災したことすべてが苦しみだと錯覚してしまったのです。しかし現実には、家族も無事で、一時的に受け入れてくれるあたたかい仲間もいる。家が壊れたといっても、もともとは自分自身がゼロから建てた家であり、致命的な被害もない。そしてなによりも、この被災を通じて、主任さんはサンガのあたたかさに気づき、救いがたくさんあったことに気づけたのです。主任さんの懺

悔を聞かせていただきながら、私もかつて自分が体験した葛藤を思い起こし、さらに気づきを深めることができました。主任さん、ありがとうございました。

本日はそのブッダガヤ法座から、現地法人の理事長さんがご参列くださっております。先ほどの主任さんや理事長さんのご精進により、今年はいよいよ、現地の会員さんが無償でご寄付くださった土地に、ブッダガヤ法座所の建設を始めさせていただく予定です。

明日は教団創立 80 周年記念日です。会長先

生が年頭ご法話でご指導くださいましたように、教団の礎を築いてくださった開祖さま、脇祖さま、先輩幹部の皆さまのご尽力に感謝の真を捧げつつ、さらに創造的な布教を心がけ、日本の皆さんのような、明るく、やさしく、あたたかいサンガを、南アジアの地にもっともっと、もっともっと、もっともっと広げて参ります。

み仏さま、開祖さま、会長先生、誠にありがとうございました。皆さん、ご静聴誠にありがとうございました。



2016年に行われたブッダガヤ法座発足式

あるところに、貧しい暮らしをしていた人がおりました。ある日、彼は親しい友達の家を訪ねました。その家はとても裕福で、さまざまご馳走でもてなしてくれました。彼はたらふく食べて、お酒に酔って、友達の家ですっかり眠りこんでしまいました。



目が覚めた彼は友達の家を立ち去り、他国に行って衣食を得るために苦労して働き、少しの収入があればそれで満足していました。ある日、彼は友達とばったりと再会しました。友達は、彼の相変わらず貧しい暮らしぶりを見て驚き、縫い付けておいた宝の珠のことを彼に話し、取り出して見せてあげました。彼は大喜びし、宝の珠のおかげで、それからは何不自由なく暮らせるようになりました。



ところが、その友達は公用があつて外出することになりました。友達は、貧しい暮らしをしている彼のためを思い、値がつけられないほど高価な宝の珠を彼の衣服の裏に縫い付けて出かけました。しかし彼はぐっすりと眠っていたため、そのことに気づきませんでした。

解説

「貧しい暮らしをしていた人」は私たち、「親しい友達」は仏さまを表しています。そして、「値がつけられないほど高価な宝の珠」とは、一乗の教えを表しています。仏さまは、現実に苦しむ人々を救おうと、様々な教えを説かれましたが、そのすべての教えは、あらゆる人を仏の境地に導くための教えだったのです。私たちはそれぞれ、様々な違いがあり、別々の道を歩んでいるように見えますが、実は、一人ひとりが同じく仏のいのちを具えており、大きなひとつのいのちとして生かされています。そのことを一乗といいます。

私たちが知らぬ間に宝の珠を持っていたということは、つまり、私たちは気づかぬうちに仏になる道を歩んでいたということです。

私たちは永久に変わらない確固たる存在ではなく、縁によって変化しているのですが、目に見えている自分の姿だけを本当の自分だと信じて、欲望に振り回されながら、苦に満ちた生活を送っています。まるでこのお話の貧しい人のように、ある時はおいしい食事とお酒に満足しても、条件が変われば、またすぐにもの暮らしに戻ってしまい、いつまでも満たされることはありません。

そこで、仏さまは、縁起の教えをお説きになり、私たちが我欲に振り回されず、心安らかでいられるように導いてくださいます。その状態(二乗の涅槃の境地)は、このお話の、衣食のために働いて少しの収入で満足して暮らしている人のようなものです。

偶然に友人と再会した時、友人が彼に宝の珠の存在を教えたということは、仏さまが私たちに、「あなたも仏になれるのですよ」と授記されたことを表しています。

仏さまからいただいた宝の珠は、自分だけの安心の境地ではありません。それは、計り知れないほど価値のある宝、すなわち、一乗の教えです。その教えによって、私たちは、自分の歩んでいる道が、実は仏になる道につながっていたことに気づけたのです。仏になる道とは、周りの人を幸せにしたいと願い、そのためには努力する道(菩薩道)です。その生き方が、仏さまのいのちをもって生まれてきた私たちの本来のすがたなのです。宝の珠の存在に気づくだけで、私たちは、今いる場所で、周りを照らすあたたかな灯りとなることでしょう。光り輝くいのちの宝珠は、すでに私たちのこころの中にあるのですから。

(中央学術研究所 監修)



※解説は『法華経の新しい解釈』と『新釈法華三部経』(庭野日敬著)を参考にしています。



あいさつは、仏性礼拝行

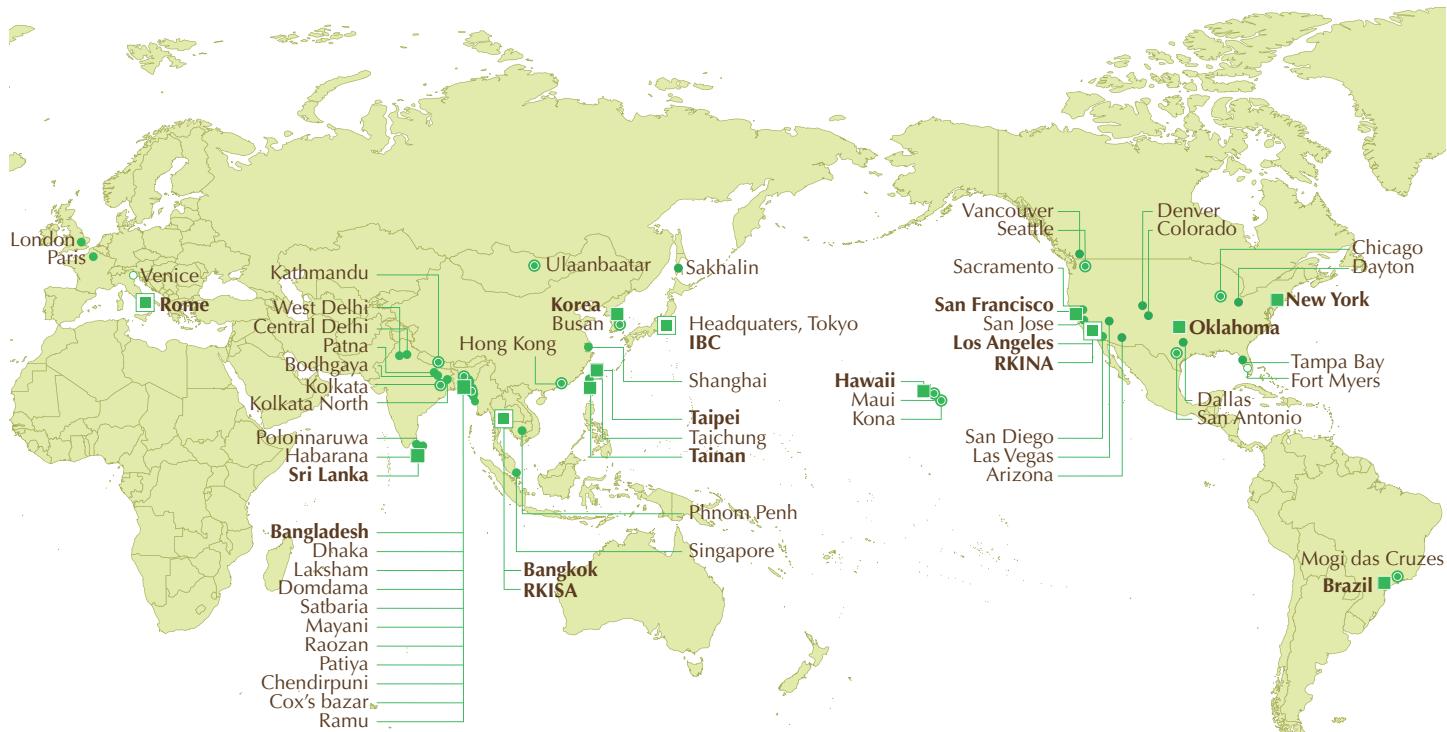
先日、箱根駅伝で4連覇を果たした青山学院大学陸上部部長の内山先生にお話を伺いました。選手を育てるには、もちろんいい記録を出すことも大事ですが、それ以上に人柄や人格形成が大切であるとお話し下さいました。

みんなで作ったルールは、「あいさつをする・履物をそろえる・寮の近隣の清掃奉仕をする」とのことでした。このくり返しの中で、相手を思う心が養われ、チームワークが確立していったのでしょう。

あいさつは、私たちも「三つの実践」で教えていただいてきたのですが、改めて、その大切さを感じます。

4月になると、一年生の子どもたちの元気なあいさつが聞こえています。何気ない日常のあいさつですが、私たちも相手を思い、心を込めて実践したいものです。

国際伝道部長
齋藤 高市



RISSHOKOSEI-KAI INTERNATIONAL BRANCHES



Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers 2018

Rissho Kosei-kai International

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles CA 90033 U.S.A.
Tel: 1-323-262-4430 *Fax:* 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org <http://www.rkina.org>

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way,
WA 98003 U.S.A.
Tel: 1-253-945-0024 *Fax:* 1-253-945-0261
e-mail: rkseattlewashington@gmail.com
<http://buddhistlearningcenter.org/>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.
P.O. Box 692148, San Antonio, TX78269, USA
Tel: 1-210-561-7991 *Fax:* 1-210-696-7745
e-mail: dharmasanantonio@gmail.com
<http://www.rkina.org/sanantonio.html>

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.
Tel: (727) 560-2927 *e-mail:* rktampabay@yahoo.com
<http://www.buddhismtampabay.org/>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii
2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.
Tel: 1-808-455-3212 *Fax:* 1-808-455-4633
e-mail: info@rkhawaii.org <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.
Tel: 1-808-242-6175 *Fax:* 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona,
HI 96740 U.S.A.
Tel: 1-808-325-0015 *Fax:* 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
Tel: 1-323-269-4741 *Fax:* 1-323-269-4567
e-mail: rk-la@sbcglobal.net <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.
Tel: 1-650-359-6951 *Fax:* 1-650-359-6437
e-mail: info@rksf.org <http://www.rksf.org>

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.
Tel: 1-212-867-5677 *Fax:* 1-212-697-6499
e-mail: rkny39@gmail.com <http://rk-ny.org/>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.
Tel : 1-773-842-5654 *e-mail:* murakami4838@aol.com
<http://home.earthlink.net/~rkchi/>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

<http://www.rkfmyersbuddhism.org/>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.
Tel & Fax: 1-405-943-5030
e-mail: rkokdc@gmail.com <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.
Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.
<http://www.rkina-dayton.com/>

Risho Kossei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,
CEP 04116-060 Brasil
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377
Fax: 55-11-5549-4304
e-mail: risho@terra.com.br <http://www.rkk.org.br>

Risho Kossei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,
CEP 08730-000 Brasil
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Jhongjheng District,
Taipei City 100 Taiwan
Tel: 886-2-2381-1632 *Fax:* 886-2-2331-3433
<http://kosei-kai.blogspot.com/>

Rissho Kosei-kai of Taichung

Rissho Kosei-kai of Tainan
No. 45, Chongming 23rd Street, East District,
Tainan City 701 Taiwan
Tel: 886-6-289-1478 *Fax:* 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
Tel: 82-2-796-5571 *Fax:* 82-2-796-1696
e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
Tel: 82-51-643-5571 *Fax:* 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,
North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960 *e-mail:* rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949 *e-mail:* roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Venezia
Rissho Kosei-kai of Paris

International Buddhist Congregation (IBC)

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka, New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamasilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Rissho Kosei-kai of Singapore

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218 *e-mail:* info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendipuni

Chendipuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 *Fax:* 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Habarana

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Other Groups**

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai